メルマガも好評発行中！

◎最新情報満載のメールマガジンも並行して発行しています。
発行頻度は毎月1日と15日です。
まだご登録されていない方はぜひ
http://www.mag2.com/m/0000266000.html
にアクセスしていただき、メールアドレスのご登録を宜しくお願いいたします。
下記は第3号の見出しの一部です。

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽

NPO無電柱ネット
～美しい空をとりもどせ！～

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽第3号（7/17）

皆さんこんにちは！
NPO法人電線のない街づくり支援ネットワークの、松原です！
いやぁすっかり夏ですね。ざるそばのおいしい季節です。
7/3の東京セミナーは大好評でした！ありがとうございます！

当NPOのHP（ホームページ）でも、最新情報を詳しく載せていきますので、ぜひ、こちらへもアクセスしてください！

◎編集後記◎

立秋とは名ばかりの暑さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？
皆様の御協力により、美空も第3号を迎えることになりました。
さて、お知らせですが、今号より、美空編集担当が坂口から康村に替わることになりました。まだまだ未熟で、ご迷惑をおかけする点があると思いますが、どうか

特定非営利活動法人
電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

「私達」が住む日本の空を、「私達」が美しい空へ変えましょう！

美空～MISORA～

第3号
発行日：2008年8月15日
発行者：NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長　高田昇

なるほど！地中化コラム

【特集】地中化を進める上での課題とは？

前回は日本のこれまでの無電柱化に関する変遷と実績をデータに基づいて紹介しました。
今回は「地中化における課題について」です。まずは、箇条書きにしてみましょう。

①更なるコストの削減の試み
②電線および電柱管理者の利権問題
③市民が地中化についてあまり知識と理解をもっていない

これらについて、補足していきます。
①・・・電力と通信分野の自由化の進展などにともない、地方自治体の財政状況が悪化している中でコストの削減は絶対的に不可欠なものになってるというわけです。

②・・・電柱等をなくすので、電線管理者と

③これは我々の身近な課題でもあります。無電柱化をすすめるにあたって住民の理解無しでは到底不可能です。無電柱化を多くの人に知ってもらわなければならないという課題があります。

このニュースレターもその問題解決の一環です。より多くの方が無電柱化の知識を持ち理解をいただければ、無電柱化はどんどん促進されていくでしょう。

是非、一人でも多くの共感者を増やしていきたいものです。
次回は、日本が環境的にお手本

景観教育への取り組み⇒行政との連携が必要

前回お知らせしていた通り、今回は景観まちづくり教育に取り組んでいくべきなのかという具体的なモデルの説明と、当NPOがその中でどの役割を担い、景観まちづくりに貢献していくべきなのかを考えてみたいと思います。

＊景観まちづくり教育の4つのモデル＊

＊住民等を対象として景観や景観まちづくりへの関心を持てる講座やイベント等を開催
講座やイベントを主催する

＊子供たちを対象とする小・中学校での景観まちづくり学習を促進、教育関係者に取り組みを促す
取組みの支援を行う

＊行政による景観まちづくり事業を住民などとの積極的な協働を図りながら推進
良好な景観形成に向けた推進体制を構築する
さまざまな立場の人々の参加を促す

＊住民などによる主体的・能動的な景観まちづくり活動を多面的に支援

（参考URL：国土交通省

■井上事務局長に聞きました。

NPO法人電線のない街づくり支援ネットワークでは、美しい景観・美しい街づくりをめざして電線類地中化に焦点を当てた活動を行っております。

そのため指針として、美しい景観の街にするために、街づくりを行う全ての機関（不動産、ディベロッパー、行政等）を支援する活動を行っています。

さまざまな立場の人に自分の町の景観について考えてもらえる機会を作ること（シンポジウム、街並み見学ツアー）や、電線類地中化に対するノウハウ面、技術面を提供する活動として、

①コンサルティング事業
②美しい街づくりセミナー
③技術研究開発
④広報活動など

多岐にわたって景観まちづくりの啓発活動を展開していこうと考えています。

景観・街づくり・法令・無電柱化に関する専門家集団である当NPOとしては、景観街づくりにおいて行政と地域住民の中を取り持つだけでなくそれぞれの地域に応じた景観まちづくりがなされるよう、地域の個性は課題を適

やはり行政に働きかけ、NPOが環境まちづくりに積極的なアプローチをしていることを行政にアピールし、行政とNPOが手を組んでよりよい環境を作っていくことが望ましいと考えています。

その中で、無電柱化をよくご存じでない一般の方々にも、無電柱化の良さを知っていただくような啓発活動を行っていこうと思いいます。

今後も、こういった活動を通して、少しでも、電線類地中化や街づくり

次回はコラムにあわせて、
ドイツの特集の予定です。
乞うご期待！